



令和5年産 麦作情報 (Vol.2)

令和5年2月21日
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

今後のポイント: 麦踏み, 追肥, 雑草防除, 排水対策

1 気象経過

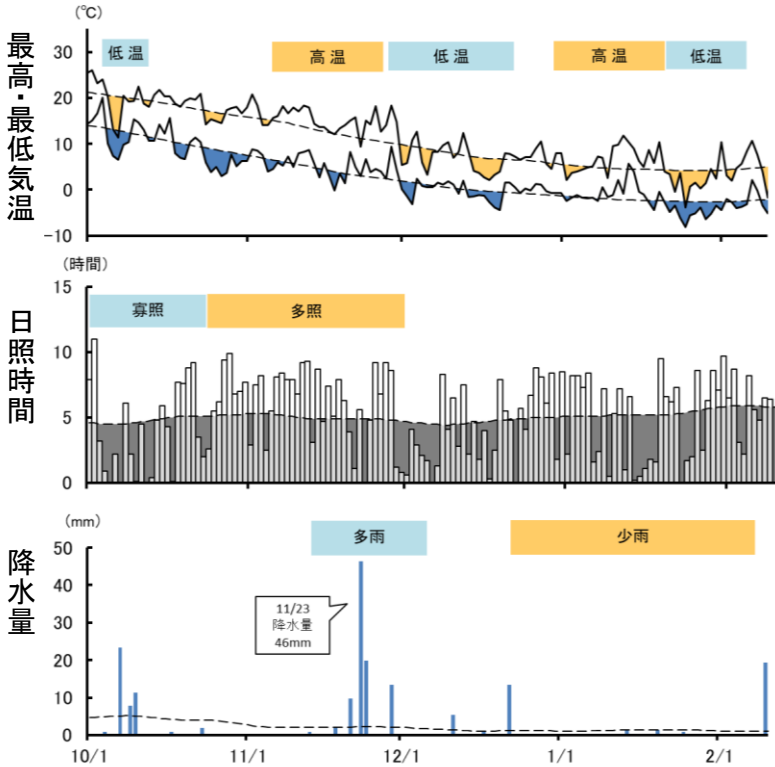


図1 気象経過(アメダス石巻)

※上: 最高・最低気温, 中: 日照時間, 下: 降水量, 点線は平年値

◆気象経過

- ・平均気温…12月は低く(平年差-0.4℃), 1月は平年並み(平年差±0.0℃)でした。1月中旬は気温がかなり高く, 下旬はかなり低く経過しました。
- ・日照時間…12月(平年比92%), 1月(平年比90%)ともに平年並みでした。
- ・降水量…12月(平年比49%), 1月(平年比12%)ともに平年よりかなり少なくなりました。

◆1か月予報 (2/11-3/10)

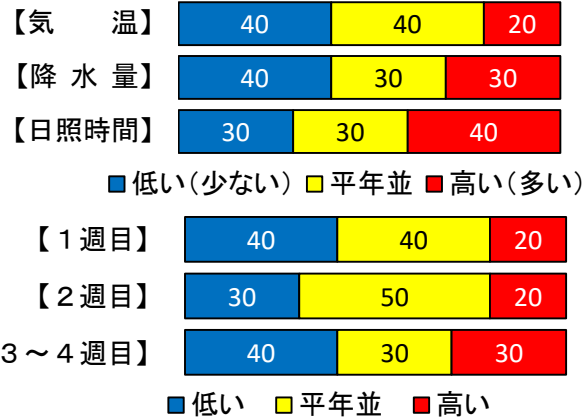


図2 季節予報(2/9気象庁発表)

※上図: 1か月の気温, 降水量, 日照時間予報, 下図: 週ごとの気温予報

2 生育調査ほの生育状況(2月10日現在)

- ◆草丈は, **平年よりやや長く**, 前年よりやや短い傾向です。
- ◆茎数は, **平年より多い**傾向です。前年比はミノリムギが多く, シュンライ, ホホワイトファイバー, シラネコムギで少ない傾向です。
- ◆幼穂長は**平年よりやや長く, 前年並みの**傾向です。シュンライでは幼穂形成期(幼穂長2mm)になっています。

表1 生育調査ほ2月10日調査結果

品種	調査ほ(旧市町)	播種日(月日)			草丈(cm)			茎数(本/㎡)			幼穂長(mm)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
シュンライ	神取(桃生)	10/07	-3日	-14日	13.1	-4.9	+2.1	851	83%	134%	2.5	+0.0	+1.4
ミノリムギ	高須賀(桃生)	10/15	-7日	-10日	12.0	+0.3	+1.6	953	170%	254%	1.1	+0.0	+0.3
	真野(石巻)	10/25	+2日	-4日	9.6	-0.7	+0.4	837	121%	197%	1.1	+0.2	+0.4
ホホワイトファイバー	水沼(石巻)	10/15	-3日	-9日	10.4	-4.2	-0.2	768	92%	116%	1.1	-0.2	+1.1
シラネコムギ	小船越(河北)	10/16	+6日	-21日	16.2	-6.0	+5.9	1213	94%	243%	0.5	+0.3	+0.3
	櫻崎(桃生)	10/27	-4日	-2日	12.5	-3.9	+1.1	575	90%	95%	0.1	+0.0	-0.0

※平年差・比は過去5か年の平均値との比較。播種日の+は遅い, -は早いことを示す。

※水沼ホホワイトファイバー調査ほは調査5年目のため, 平年差・比は過去4か年の平均値との比較。

3 今後の管理

(1)「麦踏み」～ほ場が乾いている時に、茎立ち前までに行いましょう！～

- ◆ 麦踏みは、融雪後、**茎立ち前(主稈長2cm程度で、幼穂長2mm程度)まで**に行いましょう。
- ◆ 土壌が湿った状態で麦踏みを行うと、土壌が固く締まり、根の伸長阻害や排水性悪化の原因となります。**作業は、必ずほ場が乾いた状態で行い**、ほ場が乾かないうちは無理に行わないようにしましょう。
- ◆ 湿害によって葉の黄化や生育量不足が著しい場合や、鳥類による食害が見られる場合には、効果が十分に得られないので、麦踏みを行う必要はありません。

(2)「追肥」～幼穂長を確認し、適期追肥に努めましょう！～

① 株直し追肥 … 穂数の増加

- ◆ **融雪後の生育量が小さい場合(㎡当たりの茎数が400本以下、図3参照)や、葉の黄化が著しい場合等に、N(窒素)成分で1～2kg/10a程度施用します。** 茎数が多く、葉色の低下も見られないほ場では不要です。
- ◆ **鳥類による食害の著しいほ場**では、融雪後ほ場に入れるようになったら、新葉の生育促進のため株直し追肥を行いましょう。施用量はN(窒素)成分で1kg/10a程度が目安です。



図3 茎数の目安 (シュンライ、条間30cmの例)

② 幼穂形成期追肥(追肥時期:幼穂長約2～3mm) … 穂数の増加

50cm

- ◆ 麦類は幼穂長が2mmを超える頃から茎立ちし、幼穂や節間の伸長が急激に進むため、**この頃の窒素栄養状態の悪化は有効茎歩合の低下を招きます。**その一方で、過剰施用は節間伸長を助長し倒伏の原因となるので、**適期・適量施用に努めましょう！**
- ◆ 追肥一発型肥料は、大麦においては、株直し追肥、または幼穂形成期追肥のうち1回目の追肥時期に施用し、それ以降の追肥を省略できると考えられます。

表2 追肥の施用時期と施用量の目安

追肥の種類 (生育ステージ)		幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割が出穂)
目的		有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	小麦の子実タンパク質 含有率の向上
大 麦	時期	シュンライ、ホワイトファイバー 2月下旬～3月中旬	ミノリムギ 3月上旬～4月上旬	4月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	— 硬質麦防止のため 実施しない
小 麦	時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
	10a当たり 施用量	窒素成分2.5kg (硫安12kg)	窒素成分5kg (硫安24kg)	シラネコムギ 窒素成分2.5kg(硫安12kg) 夏黄金 窒素成分5kg(硫安24kg)

※ 時期は平年の場合の大よその目安であり、実際には現地ほ場の幼穂長を見てから追肥時期を判断しましょう。

(3) 雑草防除～ 雑草の発生状況に応じて、除草剤(茎葉処理剤)の散布を検討しましょう～

表3 土壌処理剤と茎葉処理剤を使用した体系防除

月		10月	11月	2月	3月	4月	5月
生育 ステージ	大麦	播種	出芽	幼形期 減分期			出穂期
	小麦	播種	出芽	幼形期 減分期			出穂期
除草剤		土壌処理剤		茎葉処理剤			

注意: 幼穂形成期及び節間伸長期を過ぎると使用できる除草剤が少なくなるので、**適期に防除しましょう!**

アクチノール乳剤(広葉)
ハーモニー75DF(広葉, スズメノテッポウ)
バサグラン液剤(広葉)
MCPソーダ塩(広葉)

表4 茎葉処理剤の適用情報

茎葉 処理 剤	除草剤名	作物名	対象	使用時期	使用回数	作用機 構分類	希釈倍数使用量 (散布流量)
	アクチノール 乳剤	麦類	一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	2回以内	HRAC:6	100~200ml/10a (70~100L/10a)
	ハーモニー75DF	小麦	スズメノテッポウ	播種後~麦2葉期	1回	HRAC:2	5~10g/10a (100L/10a)
				麦3葉期~節間伸長前	1回		5~10g/10a (50~100L/10a)
			一年生広葉雑草	播種後~麦2葉期	1回		5~10g/10a (100L/10a)
				麦3葉期~節間伸長前	1回		5~10g/10a (50~100L/10a)
		大麦	スズメノテッポウ	播種後~麦2葉期	1回		3~10g/10a (50~100L/10a)
				麦3葉期~節間伸長前	1回		5~10g/10a (50~100L/10a)
			一年生広葉雑草	播種後~麦2葉期	1回		5~10g/10a (100L/10a)
				麦3葉期~節間伸長前	1回		5~10g/10a (50~100L/10a)
バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	麦類 (小麦を除く)	一年生雑草 (イネ科を除く)	生育期(但し, 収穫90日前まで)	1回	HRAC:6	100~200ml/10a (70~100L/10a)	
	小麦		生育期(但し, 収穫45日前まで)	1回		100~200ml/10a (70~100L/10a)	
MCPソーダ塩	麦類	一年生及び 多年生広葉雑草	(秋播麦類) 幼穂形成期 (但し, 収穫45日前まで)	1回	HRAC:4	200~300g/10a (70~100L/10a)	

※令和5年2月8日の農薬登録内容を基準に作成しています。農薬散布を行う場合は事前に最新情報で農薬登録を確認の上、使用してください。また、農薬使用の際には飛散防止対策を講じてください。農薬使用の際には薬剤の使用回数と含有する成分ごとの使用回数に注意してください。農薬使用に先立ち、ラベルの表示事項を必ず読み、安全使用上の対策等について確認してください。

【土壌処理剤だけでは抑えにくい雑草】

出芽期間が長い



春先に急成長



(診断に基づく小麦・大麦の栽培改善技術導入支援マニュアル(総合版)農研機構2020より)

☆ **「ハーモニー75DF」は節間伸長前の散布が効果的です**(一年生広葉雑草, スズメノテッポウ)

・大麦の茎立ち期頃から発生する一年生広葉雑草発生量が多いほ場においては、土壌処理剤効果も期待できる茎葉処理剤「ハーモニー75DF」を**節間伸長前に**10g/10a(希釈水量100L)散布することで、その後の雑草発生密度を低下させることが期待されます。